

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 12

H28. 10. 28

発行責任者 校長 橋本一弥



全校でふれあい給食

10月25日は、子どもたちが楽しみにしていたふれあい給食でした。全校生がいっしょに多目的ホールでいただきました。メニューはセレクト（選択）できるようになっており、唐揚げかメンチカツ、そして、これらに合う野菜料理を予め選んでの食事でした。当日は、少し多めにおかわりも用意され、大満足の様子でした。

また、10月7日には当日までメニューを内緒にしてメニューや食材に関心を持たせる工夫も行いました。機会をとらえて養護教諭や栄養技師が授業に入り、発達段階に応じて歯磨きの指導や箸のもちかた、栄養のバランス等の指導を行って、健康への関心を高めるように努めています。

11月には、給食試食会も予定していますので、ぜひご来校いただければと思います。

さくら湖自然環境フォーラムで堂々と発表

今年度のフォーラムが、過日、自然観察ステーションで開催されました。本校からは5年生が参加し、この一年、総合学習で取り組んだことを「中郷の環境 ～守り・受け継ぐ自然～」というテーマで発表しました。特別非常勤講師の堀越先生にご指導いただきながら調べた地区内の様々な貴重な動植物のこと、6年生から受継いで取り組んだビオトープの様子などについて、全員で協力してわかりやすく発表しました。さくらっ子まつりでも発表しますので、学習の成果を是非ご覧いただきたいと思います。



宮沢賢治さんの世界にひたる ～合同鑑賞教室～

10月24日に、中妻小と2校合同の鑑賞教室を開催しました。今年度は、たくさんある候補の中から人形劇を選びました。「賢治のカバン」と題し、宮沢賢治さんの「やまなし」「ゼロ弾きのゴージュ」「雨にもまけず」「注文の多い料理店」の有名4作品を演じていただきました。

宮沢賢治さんの作品のもつ不思議な世界や作品にこめられた思いなどを感じとりながら、また、4人で創り上げる人形劇の素晴らしさを感じながら鑑賞することができました。



後期の活動計画をみんなで確認 後期児童会総会

児童会総会がこのほど行われ、後期のそれぞれの委員会の活動計画が審議されました。どの委員会も前期の反省や成果をもとに計画を立てて、工夫が加えられていました。質問や意見も出され、よりよい活動となるように話し合いが進められました。みんなで協力してよりよい学校にしていこうとする姿勢がみられたことをとてもうれしく思います。

半年後には、それぞれの学年で卒業や進級を迎えますが、中郷小学校の児童会の伝統をしっかりと引き継ぐことも含めて活発に活動してくれることを期待して見守っていきたいと思います。



交通教室を開催 10月17日

J A福島さくら桜支店様の協力と中郷駐在さんのご指導をいただきながら、充実した内容で開催することができました。実技を通して、車との接触の危険性や横断の仕方、自転車の安全な乗り方などを具体的に学びました。

自転車は、「経験が十分でない児童が多く目立ち、公道に出るには十分に家の近くで練習する必要がある」というご指導を駐在さんからいただきました。ヘルメットの着用なども含め、安全な乗り方について、各ご家庭で実際にお子さんの乗車の状況を見ていただき、十分にご指導くださいますようお願いいたします。



子どもをたくましく育てるために その9 大切にしたい言葉をみつける

何か壁にぶつかったり失敗したりしたときに、ふと出会った言葉に救われて、またがんばろうという気持ちになれることが少なからずあります。言葉にはそれだけ強い力があります。人間は言葉で考え、その考えのもとに行動できる唯一の生き物だといわれています。

子ども達にも、自分自身の支えとなる素敵な言葉に出会わせたいものです。私も全校集会などで、折に触れて私の好きな言葉を紹介していきたいと思います。

「桜は、冬の雪の下でしっかりと準備をする」

桜は、春に美しい花を咲かせるために、真冬の寒さで目を覚まし開花に向けて少しずつ少しずつ準備をしていきます。開花はその時に急にできるものではなく、長い時間にわたるしっかりとした準備の活動があってこそ可能になるのです。勉強や運動はもちろんのこと「何事も事前の準備が大切」ということを伝えたくて、このような言葉にして話しました。

「努力はたし算、協力はかけ算」

これは、以前に出会った教育実習生（大学生）が、実習の最後に子ども達にプレゼントしてしてくれた言葉です。ステキな言葉だったのでよくお聞きしてみたところ、高校生の時に部活動の先生からいただいた言葉で、それからずっと大事にしているとのことでした。自分自身で努力を積み重ねていくことと、みんなで協力していくことの大切さが一つになった素晴らしい言葉だと思います。部活動や受験勉強、苦しいときを乗り越えることができたのもこの言葉のおかげだと言っていました。担当した私たち教師にとっても心に残った言葉で、今でもありがたく思っています。

自分自身や家族を支えてくれる素敵な言葉との出会いは、待っていてもなかなかやってくるものではありません。本を読んだり、様々な人の生き方にふれたりしてみつけることができるものだと思います。日頃から本を読んだりテレビ番組を見たりしながら、キラリと光る言葉、ぜひ見つけてほしいものです。伝記や人物伝の番組などは最適かもしれません。

いい言葉に出会ったら、書き留めて目に触れるように机の前などに貼っておきたいですね。